

農林水産部

昔ながらの黒糖づくりを体験（玉城村立百名小学校）

～沖縄総合事務局農林水産部が、子どもたちの農林漁業体験・出前授業をサポート～



玉城村立百名小4年生のみなさん

子供たちに昔ながらの黒糖づくりを体験してもらおうと、玉城村立百名小学校四年生三十五名（担任：嶺井のぞみ教諭）が、二月十七日に社団法人沖縄県黒砂糖工業会の指導の下、搾り汁から煮詰め、冷却までの黒糖作りの全工程に汗を流しました。

午前九時に始まった黒糖作り体験は、黒砂糖工業会職員の宇良勇さんから作業手順の説明や機械操作の注意の後、学校農園から児童全員で収穫したさとうきびを圧搾機にかけて汁を搾りました。大鍋で煮汁をよくかき混ぜつつ灰汁（あく）を取り除くため石灰を



みんなでさとうきびをしぶっています

入れ、約一時間煮詰めて熱々の黒糖へ変身すると子供たちは思わず大歓声。容器に入れ十分間冷やして完成。打つていました。

子供たちからは、「黒砂糖をどんなふうに作るかよく分かった」、「毎月一回は体験したい」、「学校の授業よりおもしろかった」、「黒砂糖が好きになった」などの感想が聞かれました。

しかし、こうしたさとうきび学習のメインイベントである黒糖づくりについては、先生の悩みの種でした。その理由は、指導を行ってくれる地域のお年寄りに電話で協力を依頼するものの、体力的、技術的問題から断られることも多く、なかなか協力者が見つからない。協力者がいなかったとしても、食用消石灰、圧搾機、釜などの機材がなかなか揃わないことや、煮詰める際の温度管理のノウハウ等がなく失敗してしまったことが多い、というものでした。

今回の体験に至った経緯

百名小学校では、四年生でさとうきびと沖縄で最初に製糖法を広めた儀間真常について学習することとしており、学校で栽培したさとうきびを全校生徒で収穫するなど、歴史、実践につながるさとうきび学習プログラムを作っています。特に今年は、学芸会で儀間真常の劇を発表するなど、四年生はさとうきびについて興味を持つて学習していました。

そんな時、沖縄総合事務局から、パンフレット「農林漁業体験で子供たちに生きる力を」（次ページにて紹介）が嶺井先生の手元に届き、パンフレットの体験メニューの一つに「黒糖づくり」を見つけた嶺井先生が黒砂糖工業会に電話をしたことから、今回の体験が実現しました。

嶺井先生は、「沖縄総合事務局からのパンフレットを見て、初めて黒糖づくりの指導を行っている黒砂糖



大鍋で搾り汁を煮つめています



黒砂糖のできあがり。この後全校生徒で試食！

工业会の存在を知った。さっそく電話したところ、すぐに体験のスケジュールが決定し、釜や食用消石灰などについても、黒砂糖工业会の方で準備してくれることだった。技術的にも確實においしい黒糖ができるので安心だ。黒糖づくりは、最も子供たちが楽しみにしており、実感が湧く部分であることから、このような情報を得ることが出来て大変助かっている。と体験学習の実現を喜んでいました。

子ども農林漁業体験ネットワークニュースの発行について

沖縄総合事務局では、今回の百名小学校での黒糖づくり体験のような、子ども農林漁業体験ネットワークに関わる活動事例等について、広く皆様にお知らせする目的で、子ども農林漁業体験ネットワークニュース（不定期）を発行し、プレスリリース、ネットワーク参加機関への配布、ホームページへの掲載を行います。

ネットワーク参加機関各位におかれましては、農林漁業体験のスケジュールや活動事例等についての情報をニュースに掲載して紹介させていただきますので、積極的な情報提供をよろしくお願いします。

ネットワーク参加市町村・参加機関の募集について

沖縄総合事務局では、協力者の紹介をして下さるネットワーク参加市町村、農林漁業体験、出前授業の実施、またはグループ内の協力者の紹介をして下さるネットワーク参加機関を募集しています。参加をご希望の方は下記担当までご連絡下さい。

子ども農林漁業体験ネットワークに関する情報は、
沖縄総合事務局農林水産部ホームページに掲載しています！

<http://ogb.go.jp/nousui/>

担当 / 沖縄総合事務局農林水産部農政課

企画調整係 金野

普及・就農係 垣花

電話 098(866)0031(内線361)

農林漁業体験で子どもたちに生きる力を！

～子ども農林漁業体験ネットワークの立ち上げについて～

1 子ども農林漁業体験ネットワークの立ち上げについて

沖縄総合事務局では、次代を担う子どもたちの健全な育成のために農業・農村体験が果たす役割の大きさに鑑み、沖縄県を「農林漁業体験・出前授業先進県」と位置づけ、その目標を実現するための第一歩として、「子ども農林漁業体験ネットワーク」を立ち上げました。

農林漁業体験は、身近な暮らしや地域について学びながら、食料・環境・生命など多方面にわたりて理解を深めることができます。優れた学習テーマと言えます。

また、地域と学校による農林漁業体験は、子どもたちが、農業・農村を理解するだけではなく、食べものの生産に対する関心を持ち、その苦労や大切さを感じる機会となります。しかし、地域によっては、こうした貴重な機会を子どもたちに提供すべく協力して下さる農家等の情報が学校に必ずしも伝わっておらず、協力者と学校間の相互の意思疎通が十分とは言えない現状にあります。



いつも食べている野菜は、こうして作られるんだね！

当たつての問題点として、もつとも多くの学校が直面しているのが、学校や教師の農業に対する技術や知識の不足です（既に実施している学校の五四%、今後実施する学校の八六%（沖縄県農林水産部営農推進課のアンケート調査結果））。この点、農林漁業や農林水産加工品の専門的知識を持つた方々による「出前授業」は、こうした子どもたちの農林漁業学習の障害を補完し、活きた社会」について勉強する格好の機会となります。

時 間	担 当 部 署 等	連 絡 先
2時間	企画調整第六課企画係	電話：098(866)0155 FAX.：098(867)4001
1時間	調整指導官	電話：098(868)0715 FAX.：098(861)5500
半日	総務課	電話：098(888)4511 FAX.：098(835)6070
4時間	沖縄県黒砂糖工業会(担当：宇良)	電話：098(859)6280 FAX.：098(859)6281
30～40分	日本分蜜糖工業会(担当：玉城)	電話：098(869)0417 FAX.：098(869)0431
要望に応ずる	沖縄県調理師会	電話：098(863)2882 FAX.：098(863)2893
1～2時間	沖縄長生薬草総務部	電話：098(947)3214 FAX.：098(947)3219
1時間	営農指導部	電話：098(860)2269 FAX.：098(860)2270
1時間	玉城牧場(担当：玉城 弘 ^{ひろむ})	電話：098(945)5183 FAX.：098(944)0113
1時間	業務課	電話：0980(82)5789 FAX.：0980(82)5790
1時間	石垣畜産センタ -	電話：0980(86)8429 FAX.：0980(86)7184
1時間	長嶺畜産(担当：長嶺政義)	電話：0980(83)0413
要相談	総合普及課	電話：0980(52)2752 FAX.：0980(51)1013
要相談	総合普及課	電話：098(973)5202 FAX.：098(982)6010
要相談	総合普及課	電話：098(889)3515 FAX.：098(835)6010
要相談	総合普及課	電話：0980(72)3149 FAX.：0980(72)8044
要相談	総合普及課	電話：0980(82)3497 FAX.：0980(83)4854

こうした状況を踏まえ、沖縄県の各地域と学校間の架け橋となり、農林漁業体験「及び出前授業」を推進するために設立されたのが、沖縄総合事務局農林水産部、沖縄県農林水産部及び各地域の農業改良普及センター、福岡食糧事務所那霸事務所、那霸植物防疫事務所、その他呼びかけに応じて御協力いただいた各機関により構成されるのがこのネットワークです。

2 農林漁業体験・出前授業メニュー 紹介パンフレット 農林漁業体験で子どもたちに生きる力を』の配布について

子ども農林漁業体験ネットワークは、最初の具体的な取組として、農林漁業体験・出前授業メニュー紹介パンフレット『農林漁業体験で子どもたちに生きる力を』(下図)を発行し、沖縄県内の全小中学校、全市町村、各地域の学童クラブ、教育委員会等の御協力を得て各子ども会等へ直接配布しています。

本パンフレットの特徴としては、次の三つがあげられます。

これまで、農林漁業体験学習及び出前授業は一部の小中学校で行われてきましたが、その実施については、個別農漁家の申し出や学校の先生の個人的つながりに依存する部分が大きかったといえます。このため、

本ネットワークでは、県内の全域から関係機関を通じて協力機関を募集し、その連絡先等を一冊のパンフレットに集約しました。これにより、先生・指導員の方々も、簡単に協力機関を探していただけるようになることと思います。

協力機関の連絡先とともに、出前授業・体験メニューの概要、実施可能時期、受け入れ可能人数、所要時間などの詳細で重要な情報を掲載し、先生方や指導員の方々が使いやすいものを目指しました。

農林漁業体験及び出前授業は全国で行われていますが、組織・業種・横断的に県の全域から協力機関を募集し、一堂に会してネットワークを立ち上げる全県的な取組は、全国的に過去に例のない初めての試みです。

3 パンフレットの利用方法

本パンフレットのご利用にあたっては、直接協力機関にお電話して打ち合わせを行つていただくほか、地域の農業改良普及センターにお電話していただくことにより、地域の多様な農家の方々の中からご要望に応じた適切な協力農家の紹介を受けることができます。

~多彩な出前授業のメニュー~

No	機 関 名	出 前 授 業 ・ 体 験 メ ニ ュ ー	時 期	人 数
1	農林水産省福岡食糧事務所那霸事務所	出前授業(米の生産、流通、消費について)、もみすり、精米指導	通 年	1学年
2	農林水産省那霸植物防疫事務所	出前授業(植物の病気、植物検疫について)	6~11月	1クラス
3	沖縄県土地改良事業団体連合会	農業体験(収穫、土地改良施設めぐり)	10~11月	100名
4	沖縄県黒砂糖工業会	加工体験(黒砂糖作り)	11~4月	3クラス
5	日本分蜜糖工業会	工場見学(製糖工場)	1~3月	1クラス
6	社団法人沖縄県調理師会	出前授業(地元食材を使った調理実習、講話)	通 年	1クラス・1学年
7	沖縄県健康食品産業協議会(有限会社 沖縄長生薬草)	出前授業、農園見学(薬草、ハーブの紹介、効能)	通 年	1クラス・1学年
8	沖縄県花卉園芸農業協同組合	出前授業、実演(花壇苗作り、花作りの実際)	5~11月	10名
9	有限会社 玉城牧場牛乳	農業体験、工場見学(乳しぼり、牛乳工場見学など)	通 年	5~15名
10	社団法人 沖縄県肉用牛生産供給公社	農場見学など	通 年	20名
11	社団法人 石垣畜産センタ -	農場見学など	通 年	20名
12	農業生産法人 長嶺畜産	農場見学など	通 年	20名
13	沖縄県北部農業改良普及センタ -	出前授業(沖縄の農業全般)作物栽培の技術指導など	通 年	要相談
14	沖縄県中部農業改良普及センタ -	出前授業(沖縄の農業全般)作物栽培の技術指導など	通 年	要相談
15	沖縄県南部農業改良普及センタ -	出前授業(沖縄の農業全般)作物栽培の技術指導など	通 年	要相談
16	沖縄県宮古農業改良普及センタ -	出前授業(沖縄の農業全般)作物栽培の技術指導など	通 年	要相談
17	沖縄県八重山農業改良普及センタ -	出前授業(沖縄の農業全般)作物栽培の技術指導など	通 年	要相談